



趣味は  
猟師の父の  
影響もあって  
アウトドア全般  
です



私の名前は  
T・H  
45歳  
アイデス  
株式会社  
勤めています

妻36歳と  
息子3歳の  
三人家族



通勤用の  
クロスバイク



自転車好きが  
加速

職場で担当に  
なった事から



山を楽しむために  
マウンテンバイク



ロングライドを  
楽しむために  
ロードバイクと

趣味を  
広げて  
行きました





会社のメンバーを誘って自転車に乗りに行ったり



9台の自転車を所有しています

今ではとうとう



ホノルルで開催される160kmのロングライドに参加してみたり



妻に隠れてパーツを取り寄せ

自分の愛車をグレイドアップする事にハマっています



ロードレースの経験もあります

国内外のマウンテンバイク





ママ友の集まりがある時は

息子と自転車遊びのチャンス



早く息子と多摩川でのグラベルライドにチャレンジしたいと思っています



ただ今は子育てが忙しくて…



息子は凸凹の振動や木々の近くを走るのが楽しく喜んでいます

海外から取り寄せたチャイルドシートをマウンテンバイクに取り付け

公園をサイクリング



調子に乗り過ぎて怒られますが…

こわい



シティーユースをメインに設計してるから私が息子と走りたいシーンには物足りない

私が開発したD-Bike Master+はヘンシンスイッチがついているから自転車練習には最適なんです



ただなかなか息子にピッタリな自転車って売ってないんですよね



私が使っている  
ブランドの子ども車は  
どうかと見てみたん  
ですが

華奢な  
ワンピース  
クラシク



いかにも  
子ども車って  
感じのチェーン  
ケース

タイヤも  
スリックタイヤで  
オフロードを走るの  
は  
難しい

昔リーズナブルな  
自転車の企画の時に  
私も使ったタイヤ  
なだけに

ちよつとないかな、  
と

次にB社とC社を  
物色してみました

B社

C社



結構  
魅力的だったん  
ですが

両社とも  
アメリカの  
子どもを  
基準に  
設計されて  
いるから

サドルが高くて  
足つき悪いのと…



サドルとハンドルの  
距離も気になるん  
ですよ

大人用なら  
S、L、Mと  
サイズが  
選べるんですが



子ども用はサイズが  
一つしかないから

子どもを跨らせて  
確認しないと  
ピッタリの自転車  
が  
探せないん  
ですよ





日本人に合わせるならって  
事で日本メーカーの  
自転車も探してみたけど



籠のついた  
いかにも子ども用って  
感じで…

いくつか理想に  
近い商品も  
あったんですが

どれもペダルの  
着脱に工具が  
必要なんです

数多くの自転車教室で  
指導した経験から、子どもの  
上達度に合わせタイミングよく  
ペダルの着脱が出来るよ

補助輪外しも  
上手くいき、マスターするのが  
早いことを知っているん  
ですよ



子どもって  
すぐ気持ち  
変わっちゃう  
から

イけそう！って  
タイミングを  
逃したくなくて

ベストな1台を  
探したんですが  
なかなか見つからなくて

でもその時  
思ったんです





そうだ

無いなら  
作ればいいんだ

……って

そこから  
企画書を作って  
社長に直談判

営業や量産チームの  
メンバーも賛同して  
くれて

キッズマウンテン  
バイクの理想系を  
作ってみよう  
という事になりました

子どもと一緒に  
河川敷や里山を  
走りたいと思っている  
親の夢を叶えるために

オフロードで  
遊ぶ事ができ

練習用にも最適で  
初めて乗る子どもでも  
怖がらないで乗れる

そんな  
機能を兼ね備えた  
自転車が必要なんです





各メンバーが  
様々な意見を  
出し合って  
仮説を立て

バイクチームの  
営業担当が  
全国のスポーツバイク店に  
インタビュー



早速プロジェクトチームで  
理想の「キッズマウンテンバイク」  
を開発するべく検討を開始



その情報を元に  
仕様を見直して

仮説を立て直しては  
再度インタビュー

これを何度も  
繰り返しました



そしてついに  
我々は目指す  
キッズマウンテンバイク  
の理想型に辿り着きました

そのマウンテンバイクに  
必要な7要素とは……!!



厳しいご意見を  
頂く事も  
ありましたが

皆で  
励まし合い  
ここまで  
きました

アドバイスを下さった  
お店の方々には  
感謝しかありません

キッズマウンテンバイクに MUST な **7要素** をご紹介します！

## ①練習のハードルを下げ、子どものやる気を維持させること

自転車に乗るには「バランス」と「ペダリング」の両方を同時に行う必要があります。これらを一度に習得するのは難しいので、「キックバイクモード」と「自転車モード」それぞれの個別練習が理想。子どもの上達度や気分に合わせて**素早くモードを切り替える**ことが重要なんです。これを可能にしたのが「**ヘンシンスイッチ**」。ペダルとクランクの取り外しにより5秒でモード切り替えることが可能となりました。ワンタッチでつけ外しができますが、引張強度700kg以上なので安心してお使いいただけます！

## ②軽量化で扱いやすくすることと、高い堅牢性

軽量化と同時に強度・耐久性・剛性も重視します。子どもの力や体格を考慮し、車体は**極限まで軽量化**。一方、オフロード走行に必要な強度と耐久性を保つため **6061 アルミフレームとフォークを専用設計**。**ガセット追加で剛性アップ**。JIS 基準<sup>※1</sup>を大きく超える、独自の高い**耐振性試験 21 万回**もクリア。さらにタイヤは YAMANEKO BIKE 専用トレッドパターンとケーシング<sup>※2</sup>により性能 UP と軽量化を実現しています。この他にも、ハンドルバー、クランク、ステムなどアルミ採用で最軽量級の完成です。

※1 JIS D9401 フレーム耐振性試験条件4万回の5.2 倍

※2 タイヤの“骨組み”となる繊維レイヤー 16:280g/18:300g 軽量化

## ③握りやすく操作しやすいブレーキ

子どもの手の大きさと握力を考慮し、**細身のハンドルバーとオリジナルグリップ**を採用しました。さらに操作性と制動力を考え、**専用開発した V ブレーキユニット**も採用。これにより子どもでも簡単に操作でき、緊急時にも確実に止まれる安心感を提供。これが自転車の楽しさを伝える一助となります。



#### ④漕ぎだしの軽さ

子どもが自転車に乗る際の最大の課題、「ゼロ発進<sup>※</sup>」を解決。子どもの体格に合わせた**オリジナルクランクを開発**し、パワーロスを防ぎ、踏み込む力を効率よく伝えることが可能に。さらにサイズごとに子どもの脚力に合わせた**最適なギア比を設定**。これらにより、子どもでも楽にペダリングでき、安定した走行が可能に。オフロードでも大きな利点をもたらします。

※止まった状態からのスタート。



#### ⑤安定性とクッション性

自転車は低速時に不安定になり易く、特に子どもはその影響を受けやすいのです。そこで、低速時の安定性を高めるため、幅「**2.125**」の**太いタイヤを採用**しました。これによりタイヤのエアボリュームが増え、路面からの振動をより効果的に吸収できるようになりました。これは特に子どもの自転車乗り始めに役立ちます。

#### ⑥カッコよさと安全性

安全性とデザイン性を両立しつつ、軽量化を追求する必要があるキッズマウンテンバイクの設計では不要な部品を削除することは有効です。しかし**指や衣類が巻き込まれる事故**を避けるためには「チェーンケース」は外せない結論に至りました。重量を最小限に留めることとデザイン上スポーティーにすることの両立を目指し、「**セキュアスポーツケース**」をオリジナル設計しました。

#### ⑦低スタンドオーバーハイト<sup>※</sup>と低重心

子どもが自転車に乗った際、上手くブレーキ操作ができずサドルから降りて両足を地面について止まろうとする動作が見られます。これらの行動特性を考慮し、足つき良さを考え、子どもの股下寸法に合わせ、**低いスタンドオーバーハイト**でのフレーム設計をしました。このことは、子どもに安心感を与えるだけでなく、**低重心化**につながり、**走行安定性も向上**し、オフロード走行時の大きな利点となりました。

※地面からトップチューブまでの寸法。自転車購入時の足つき性の指標。





以上が我々が  
導き出した  
キッズマウンテンバイクに  
必要な7要素です

もちろん  
それを  
ただ満たす  
だけでなく



「機能」  
「性能」  
「安全性」  
「デザイン性」  
の全てを追求し

高レベルで  
網羅しました

その他にも  
里山やマウンテン  
バイクコースを快適に  
走れるように  
太めのブロックタイヤを  
採用しつつ

低いノブを密集させた  
トレッドパターンで  
タイヤの転がり抵抗を  
抑えたり

空気が漏れにくく  
丈夫で、低い空気圧でも  
タイヤ内の空気を一定に  
保つ「米式バルブ」を  
採用

またトップチューブ上面  
フロントフォーク左右両面の  
計3ヶ所にアイレットを  
装備

ボトルケージや  
カゴケージなど  
アクセサリ装備に  
対応した設計に  
なっているから

装備も十分に搭載出来る  
親子での里山ライドや  
ツーリングに最適な  
1台に仕上げました





最後に  
私達は多くの子ども達に  
「一番早く乗れる  
ようになる自転車」を

そして本気で  
遊べば遊ぶほど  
「一番好きになる自転車」  
を目指して  
このキッズマウンテン  
バイクを開発しました



自転車遊びを通して  
子ども達が元気いっぱい  
街中やフィールドを  
駆け回り

たくましく成長する事への  
願いも込めました



そして  
軽快でバランスに  
優れ、自由に里山を  
駆けるヤマネコに  
イメージを重ね

「YAMANNEKO  
BIKE」  
(ヤマネコバイク)と  
名付けました



ヤマネコは  
子どもの狩りの  
練習を親と一緒に  
行います

豊かな自然環境の中で  
子どもの成長と自立を  
願うヤマネコは  
私達と同じく愛情深い  
動物でもあります



YAMANNEKO BIKE  
を通して  
我が子の成長と

親子の楽しい  
素敵な時間を  
提供出来る事を



心から  
願っています

